

■特記仕様書-1

底島地方事務組合 波崎中継施設建設工事

Ⅰ. 工事概要

1. 工事場所

茨城県神栖市波崎町9602

2. 建物概要

敷地面積 999.00㎡ 建築面積 310.25㎡

建物名称	構造	階数	延面積(㎡)	消防施工令別表第一	備考
その他・事務所		1階建て	310.25		

3. 工事種目（●印の付いたものを適用する。）

建別及び屋外	工 事 種 別				
工事種目	屋 内				屋 外
● 空調調和設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式
● 換気設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式
・ 排煙設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式
・ 自動制御設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式
● 衛生器具設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式
● 給水設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式
● 排水設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式
● 給湯設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式
・ 消火設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式
・ 冷却水配管設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式
・ 空気配管設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式
・ ガス設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式
● し尿浄化槽設備	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式
	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式	○ 一 式

4. 指定部分

● 無 ● 有

対象部分： _____

5. 工事範囲

6. 設備概要（●印の付いたものを適用する。）

方式及び種別	設 備 概 要		
空調方式	・ 空気調和	・ ビルマルチ方式（EHP）	・ パッケージ方式
	● ルームエアコン ● ファンコイルユニット方式		
主熱源	● 電気	● ガス	
	・ 電気式	・ 電子式	・ デジタル式
給水方式	● 水道直結式 ● 高圧タンク式（・市水 ・井水）		
排水方式	・ 加圧給水方式 ・ 増圧直結給水方式		
	建物内汚水、雑排水（・ 分流 ● 合流）		
消防用設備等の種別	建物外放流先		
	(1) 汚 水 ・ 直放流下水管 ● し尿浄化槽 ・ ***** (2) 雑排水 ・ 直放流下水管 ● し尿浄化槽 ・ ***** (3) 雨 水 ・ 直放流下水管 ・ 道路側溝に放流 ● 敷地内雨水浸透（建築工事）		
ガスの種別	・ 屋内消火栓設備 ・ ｽﾘｯﾌﾟﾅｰ ・ 二酸化炭素消火設備 ・ 泡消火設備		
	・ 粉末消火設備 ・ 屋外消火栓設備 ・ 連絡送水管設備 ・ 連絡給水設備		
ガスの種別	・ 都市ガス（種類13A、発熱量11,000kcal/㎓3、供給事業者名 東京ガス）		
	・ 液化石油ガス		

Ⅱ・工事仕様

1. 共通仕様

現場説明書（現場説明書に対する質問回答を含む）本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国文省大臣官庁官庁整備部の公共建築仕様書「機械設備工事編」（最新版）及び公共建築設備工事標準図「機械設備工事編」（最新版）による。

2. 特記仕様

(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に●印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は、●印の付いたものを適用し、○印の付いたものは適用しない。

章	項 目	特 記 事 項
● 一般共通事項	1 機材等	本工事に使用する機材等は、設備機材等指定表（ / ）図によるほか、同等品以上とする。ただし、同等品以上とする場合は、総括設計監督員の承認を受ける文、「建築材料・設備機材等品質評価事業」（社）公共建築協会）によって所要の品質・性能有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督員に提出するものとする。
	2 主任技術者等の資格	資格の区分1 ・ 資格の区分2
	3 電気保安技術者	○ く ○ かない
	4 技能士の適用	● 配管（配管工事） ● 建築板金（ダクト製作及び取付け） ・ 熱絶縁施工（保温工事） ・ 冷凍空調調和機器施工（チリングユニット、パッケージ形空調調和機の据付及び整備）
	5 機材等の検査と試験	● 検査及び試験を行うべき機材等は、共通仕様書による。
	6 監督員事務所	・ 設けない ・ 設ける
	7 官公庁への手続	● 工事に必要な官公事などへの手続きは請負者が代行し、速やけに行う。
	8 工事用電力水その他	● この工事に必要な工事用電力、水及び諸手続き等の費用は、すべて請負者の負担とする。
	9 工事用設備物	構内につくことが ● できる ・ できない（ ）
	10 現場・さん機類	● 別契約の関係請負者が定置したものの無償で利用できる。 ・ 本工事で負担とする
	11 残土処理	・ 構内搬りならし ・ 構外搬出適切処理
	12 埋め戻し土・盛土	・ 被切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類） ● 山砂の類
	13 発生材の処理	引渡しを要するもの ● 無 ・ 有（ ） ・ 引渡しを要するもの以外は構外搬出処理とする。

章 項 目

特 記 事 項

14 工事写真

15 完成図その他

16 案内板

17 総合調整

18 電源周波数

19 容量等の表示

20 耐震措置

21 配管

22 保温

23 塗装

24 電線

25 はり

26 天井上区分

27 他工事との取扱い

28 他工事との取扱い

29 他工事との取扱い

30 他工事との取扱い

31 他工事との取扱い

32 他工事との取扱い

33 他工事との取扱い

34 他工事との取扱い

35 他工事との取扱い

36 他工事との取扱い

37 他工事との取扱い

38 他工事との取扱い

39 他工事との取扱い

40 他工事との取扱い

41 他工事との取扱い

42 他工事との取扱い

43 他工事との取扱い

44 他工事との取扱い

45 他工事との取扱い

46 他工事との取扱い

47 他工事との取扱い

48 他工事との取扱い

49 他工事との取扱い

50 他工事との取扱い

51 他工事との取扱い

52 他工事との取扱い

53 他工事との取扱い

54 他工事との取扱い

55 他工事との取扱い

56 他工事との取扱い

57 他工事との取扱い

58 他工事との取扱い

59 他工事との取扱い

60 他工事との取扱い

61 他工事との取扱い

62 他工事との取扱い

63 他工事との取扱い

64 他工事との取扱い

65 他工事との取扱い

66 他工事との取扱い

67 他工事との取扱い

68 他工事との取扱い

69 他工事との取扱い

70 他工事との取扱い

71 他工事との取扱い

72 他工事との取扱い

73 他工事との取扱い

74 他工事との取扱い

75 他工事との取扱い

76 他工事との取扱い

77 他工事との取扱い

78 他工事との取扱い

79 他工事との取扱い

80 他工事との取扱い

81 他工事との取扱い

82 他工事との取扱い

83 他工事との取扱い

84 他工事との取扱い

85 他工事との取扱い

86 他工事との取扱い

87 他工事との取扱い

88 他工事との取扱い

89 他工事との取扱い

90 他工事との取扱い

91 他工事との取扱い

92 他工事との取扱い

93 他工事との取扱い

94 他工事との取扱い

95 他工事との取扱い

96 他工事との取扱い

97 他工事との取扱い

98 他工事との取扱い

99 他工事との取扱い

100 他工事との取扱い

章 項 目

特 記 事 項

9 ダンパー

10 配管材料

11 弁類

12 温度計

13 圧力計

14 網間流量計

15 油面制御装置

16 絶縁フランジ

17 保温及び消音内貼り

18 換気設備

19 換気設備

20 換気設備

21 換気設備

22 換気設備

23 換気設備

24 換気設備

25 換気設備

26 換気設備

27 換気設備

28 換気設備

29 換気設備

30 換気設備

31 換気設備

32 換気設備

33 換気設備

34 換気設備

35 換気設備

36 換気設備

37 換気設備

38 換気設備

39 換気設備

40 換気設備

41 換気設備

42 換気設備

43 換気設備

44 換気設備

45 換気設備

46 換気設備

47 換気設備

48 換気設備

49 換気設備

50 換気設備

51 換気設備

52 換気設備

53 換気設備

54 換気設備

55 換気設備

56 換気設備

57 換気設備

58 換気設備

59 換気設備

60 換気設備

61 換気設備

62 換気設備

63 換気設備

64 換気設備

65 換気設備

66 換気設備

67 換気設備

68 換気設備

69 換気設備

70 換気設備

71 換気設備

72 換気設備

73 換気設備

74 換気設備

75 換気設備

76 換気設備

77 換気設備

78 換気設備

79 換気設備

80 換気設備

81 換気設備

82 換気設備

83 換気設備

84 換気設備

85 換気設備

86 換気設備

87 換気設備

88 換気設備

89 換気設備

90 換気設備

91 換気設備

92 換気設備

93 換気設備

94 換気設備

95 換気設備

96 換気設備

97 換気設備

98 換気設備

99 換気設備

100 換気設備

章 項 目

特 記 事 項

1 配管材料

2 水栓

3 量水器

4 量水器

5 弁類

6 水栓柱

7 管の埋設深さ

8 保温

9 建物導入部配管

10 引込給付金等

11 排水設備

12 洗面器等の排水管

13 排水試験機

14 排水試験機

15 排水試験機

16 排水試験機

17 排水試験機

18 排水試験機

19 排水試験機

20 排水試験機

21 排水試験機

22 排水試験機

23 排水試験機

24 排水試験機

25 排水試験機

26 排水試験機

27 排水試験機

28 排水試験機

29 排水試験機

30 排水試験機

31 排水試験機

32 排水試験機

33 排水試験機

34 排水試験機

35 排水試験機

36 排水試験機

37 排水試験機

38 排水試験機

39 排水試験機

40 排水試験機

41 排水試験機

42 排水試験機

43 排水試験機

44 排水試験機

45 排水試験機

46 排水試験機

47 排水試験機

48 排水試験機

49 排水試験機

50 排水試験機

51 排水試験機

52 排水試験機

53 排水試験機

54 排水試験機

55 排水試験機

56 排水試験機

57 排水試験機

58 排水試験機

59 排水試験機

60 排水試験機

61 排水試験機

62 排水試験機

63 排水試験機

64 排水試験機

65 排水試験機

66 排水試験機

67 排水試験機

68 排水試験機

69 排水試験機

70 排水試験機

71 排水試験機

72 排水試験機

73 排水試験機

74 排水試験機

75 排水試験機

76 排水試験機

77 排水試験機

78 排水試験機

79 排水試験機

80 排水試験機

81 排水試験機

82 排水試験機

83 排水試験機

84 排水試験機

85 排水試験機

86 排水試験機

87 排水試験機

88 排水試験機

89 排水試験機

90 排水試験機

91 排水試験機

92 排水試験機

93 排水試験機

94 排水試験機

95 排水試験機

96 排水試験機

97 排水試験機

98 排水試験機

99 排水試験機

100 排水試験機

章 項 目

特 記 事 項

1 配管材料

2 水栓

3 量水器

4 量水器

5 弁類

6 水栓柱

7 管の埋設深さ

8 保温

9 建物導入部配管

10 引込給付金等

11 排水設備

12 洗面器等の排水管

13 排水試験機

14 排水試験機

15 排水試験機

16 排水試験機

17 排水試験機

18 排水試験機

19 排水試験機

20 排水試験機

21 排水試験機

22 排水試験機

23 排水試験機

24 排水試験機

25 排水試験機

26 排水試験機

27 排水試験機

28 排水試験機

29 排水試験機

30 排水試験機

31 排水試験機

32 排水試験機

33 排水試験機

34 排水試験機

35 排水試験機

36 排水試験機

37 排水試験機

38 排水試験機

39 排水試験機

40 排水試験機

41 排水試験機

42 排水試験機

43 排水試験機

44 排水試験機

45 排水試験機

46 排水試験機

47 排水試験機

48 排水試験機

49 排水試験機

50 排水試験機

51 排水試験機

52 排水試験機

53 排水試験機

54 排水試験機

55 排水試験機

56 排水試験機

57 排水試験機

58 排水試験機

59 排水試験機

60 排水試験機

61 排水試験機

62 排水試験機

63 排水試験機

64 排水試験機

65 排水試験機

66 排水試験機

67 排水試験機

68 排水試験機

69 排水試験機

70 排水試験機

71 排水試験機

72 排水試験機

73 排水試験機

74 排水試験機

75 排水試験機

76 排水試験機

77 排水試験機

78 排水試験機

79 排水試験機

80 排水試験機

81 排水試験機

82 排水試験機

83 排水試験機

84 排水試験機

85 排水試験機

86 排水試験機

87 排水試験機

88 排水試験機

89 排水試験機

90 排水試験機

91 排水試験機

92 排水試験機

93 排水試験機

94 排水試験機

95 排水試験機

96 排水試験機

97 排水試験機

98 排水試験機

99 排水試験機

100 排水試験機

章 項 目

特 記 事 項

1 配管材料

2 水栓

3 量水器

4 量水器

5 弁類

6 水栓柱

7 管の埋設深さ

8 保温

9 建物導入部配管

10 引込給付金等

11 排水設備

12 洗面器等の排水管

13 排水試験機

14 排水試験機

15 排水試験機

16 排水試験機

17 排水試験機

18 排水試験機

19 排水試験機

20 排水試験機

21 排水試験機

22 排水試験機

23 排水試験機

24 排水試験機

25 排水試験機

26 排水試験機

27 排水試験機

28 排水試験機

29 排水試験機

30 排水試験機

31 排水試験機

32 排水試験機

33 排水試験機

34 排水試験機

35 排水試験機

36 排水試験機

37 排水試験機

38 排水試験機

39 排水試験機

40 排水試験機

41 排水試験機

42 排水試験機

43 排水試験機

44 排水試験機

45 排水試験機

46 排水試験機

47 排水試験機

48 排水試験機

49 排水試験機

50 排水試験機

51 排水試験機

52 排水試験機

53 排水試験機

54 排水試験機

55 排水試験機

56 排水試験機

57 排水試験機

58 排水試験機

59 排水試験機

60 排水試験機

61 排水試験機

62 排水試験機

63 排水試験機

64 排水試験機

65 排水試験機

66 排水試験機

67 排水試験機

68 排水試験機

69 排水試験機

70 排水試験機

71 排水試験機

72 排水試験機

73 排水試験機

74 排水試験機

75 排水試験機

76 排水試験機

77 排水試験機

78 排水試験機

79 排水試験機

80 排水試験機

81 排水試験機

82 排水試験機

83 排水試験機

84 排水試験機

85 排水試験機

86 排水試験機

87 排水試験機

88 排水試験機

89 排水試験機

90 排水試験機

91 排水試験機

92 排水試験機

93 排水試験機

94 排水試験機

95 排水試験機

96 排水試験機

97 排水試験機

98 排水試験機

99 排水試験機

100 排水試験機

章 項 目

特 記 事 項

1 配管材料

2 水栓

3 量水器

4 量水器

5 弁類

6 水栓柱

7 管の埋設深さ

8 保温

9 建物導入部配管

10 引込給付金等

11 排水設備

12 洗面器等の排水管

13 排水試験機

14 排水試験機

15 排水試験機

16 排水試験機

17 排水試験機

18 排水試験機

19 排水試験機

20 排水試験機

21 排水試験機

22 排水試験機

23 排水試験機

24 排水試験機

25 排水試験機

26 排水試験機

27 排水試験機

28 排水試験機

29 排水試験機

30 排水試験機

31 排水試験機

32 排水試験機

33 排水試験機

34 排水試験機

35 排水試験機

36 排水試験機

37 排水試験機

38 排水試験機

39 排水試験機

40 排水試験機

41 排水試験機

42 排水試験機

43 排水試験機

44 排水試験機

45 排水試験機

46 排水試験機

47 排水試験機

48 排水試験機

49 排水試験機

50 排水試験機

51 排水試験機

52 排水試験機

53 排水試験機

54 排水試験機

55 排水試験機

56 排水試験機

57 排水試験機

58 排水試験機

59 排水試験機

60 排水試験機

61 排水試験機

62 排水試験機

63 排水試験機

64 排水試験機

65 排水試験機

66 排水試験機

67 排水試験機

68 排水試験機

69 排水試験機

70 排水試験機

71 排水試験機

72 排水試験機

73 排水試験機

74 排水試験機

75 排水試験機

76 排水試験機

77 排水試験機

78 排水試験機

79 排水試験機

80 排水試験機

81 排水試験機

82 排水試験機

83 排水試験機

84 排水試験機

85 排水試験機

86 排水試験機

87 排水試験機

88 排水試験機

89 排水試験機

90 排水試験機

91 排水試験機

92 排水試験機

93 排水試験機

94 排水試験機

95 排水試験機

96 排水試験機

97 排水試験機

98 排水試験機

99 排水試験機

100 排水試験機

章 項 目

特 記 事 項

1 配管材料

2 水栓

3 量水器

4 量水器

5 弁類

6 水栓柱

7 管の埋設深さ

8 保温

9 建物導入部配管

10 引込給付金等

11 排水設備

12 洗面器等の排水管

13 排水試験機

14 排水試験機

15 排水試験機

16 排水試験機

17 排水試験機

18 排水試験機

19 排水試験機

20 排水試験機

21 排水試験機

22 排水試験機

23 排水試験機

24 排水試験機

25 排水試験機

26 排水試験機

27 排水試験機

28 排水試験機

29 排水試験機

30 排水試験機

31 排水試験機

32 排水試験機

33 排水試験機

34 排水試験機

35 排水試験機

36 排水試験機

37 排水試験機

38 排水試験機

39 排水試験機

40 排水試験機

41 排水試験機

42 排水試験機

43 排水試験機

44 排水試験機

45 排水試験機

46 排水試験機

47 排水試験機

48 排水試験機

49 排水試験機

50 排水試験機

51 排水試験機

52 排水試験機

53 排水試験機

54 排水試験機

55 排水試験機

56 排水試験機

57 排水試験機

58 排水試験機

59 排水試験機

60 排水試験機

61 排水試験機

62 排水試験機

63 排水試験機

64 排水試験機

65 排水試験機

66 排水試験機

67 排水試験機

68 排水試験機

69 排水試験機

70 排水試験機

71 排水試験機

72 排水試験機

73 排水試験機

74 排水試験機

75 排水試験機

76 排水試験機

77 排水試験機

78 排水試験機

79 排水試験機

80 排水試験機

81 排水試験機

82 排水試験機

83 排水試験機

84 排水試験機

85 排水試験機

86 排水試験機

87 排水試験機

88 排水試験機

89 排水試験機

90 排水試験機

91 排水試験機

92 排水試験機

93 排水試験機

94 排水試験機

95 排水試験機

96 排水試験機

97 排水試験機

98 排水試験機

99 排水試験機

100 排水試験機

章 項 目

特 記 事 項

1 配管材料

2 水栓

3 量水器

4 量水器

5 弁類

6 水栓柱

7 管の埋設深さ

8 保温

9 建物導入部配管

10 引込給付金等

11 排水設備

12 洗面器等の排水管

13 排水試験機

14 排水試験機

15 排水試験機

16 排水試験機

17 排水試験機

18 排水試験機

19 排水試験機

20 排水試験機

21 排水試験機

22 排水試験機

23 排水試験機

24 排水試験機

25 排水試験機

26 排水試験機

27 排水試験機

28 排水試験機

29 排水試験機

30 排水試験機

31 排水試験機

32 排水試験機

33 排水試験機

34 排水試験機

35 排水試験機

36 排水試験機

37 排水試験機

38 排水試験機

39 排水試験機

40 排水試験機

41 排水試験機

42 排水試験機

43 排水試験機

44 排水試験機

45 排水試験機

46 排水試験機

47 排水試験機

48 排水試験機

49 排水試験機

50 排水試験機

51 排水試験機

52 排水試験機

53 排水試験機

54 排水試験機

55 排水試験機

56 排水試験機

57 排水試験機

58 排水試験機

59 排水試験機

60 排水試験機

61 排水試験機

62 排水試験機

63 排水試験機

64 排水試験機

65 排水試験機

66 排水試験機

67 排水試験機

68 排水試験機

69 排水試験機

70 排水試験機

71 排水試験機

72 排水試験機

73 排水試験機

74 排水試験機

75 排水試験機

76 排水試験機

77 排水試験機

78 排水試験機

79 排水試験機

80 排水試験機

81 排水試験機

82 排水試験機

83 排水試験機

84 排水試験機

85 排水試験機

86 排水試験機

87 排水試験機

88 排水試験機

89 排水試験機

90 排水試験機

91 排水試験機

92 排水試験機

93 排水試験機

94 排水試験機

95 排水試験機

96 排水試験機

97 排水試験機

98 排水試験機

99 排水試験機

100 排水試験機

章 項 目

特 記 事 項

1 配管材料

2 水栓

3 量水器

4 量水器

5 弁類

6 水栓柱

7 管の埋設深さ

8 保温

9 建物導入部配管

10 引込給付金等

11 排水設備

12 洗面器等の排水管

13 排水試験機

14 排水試験機

15 排水試験機

16 排水試験機

17 排水試験機

18 排水試験機

19 排水試験機

20 排水試験機

21 排水試験機

22 排水試験機

23 排水試験機

24 排水試験機

25 排水試験機

26 排水試験機

27 排水試験機

28 排水試験機

29 排水試験機

30 排水試験機

31 排水試験機

32 排水試験機

33 排水試験機

34 排水試験機

35 排水試験機

36 排水試験機

37 排水試験機

38 排水試験機

39 排水試験機

40 排水試験機

41 排水試験機

42 排水試験機

43 排水試験機

44 排水試験機

45 排水試験機

46 排水試験機

47 排水試験機

48 排水試験機

49 排水試験機

50 排水試験機

51 排水試験機

52 排水試験機

53 排水試験機

54 排水試験機

55 排水試験機

56 排水試験機

57 排水試験機

58 排水試験機

59 排水試験機

60 排水試験機

61 排水試験機

62 排水試験機

63 排水試験機

64 排水試験機

<

■特記仕様書-2

■ 関係法令

(1) 開口部の少ない建築物等の換気設備
建築基準法施行令第20条の2

換気設備	令第129条の2の5
機械換気設備	令第129条の2の5第2項
中央管理方式の空調設備	令第129条の2の5第3項
中央管理室	令第126条の3の第1項11号

(2) 火気使用室に設ける換気設備
建築基準法施工令第20条の3
告示 昭45建告1826号

(3) 防火区画
建築基準法施工令第112条
告示 平12建告1369号
その他

スプリンクラー設備 消防法施行令第12条
水噴霧消火設備 消防法施行令第14条
泡消火設備 消防法施行令第15条
建築基準法第2条第7号の二

(4) 排煙設備
建築基準法施行令第126の2の2
法別表第1
告示 平12建告1436号
告示 昭48建告2564号
告示 平12建告1437号
建築基準法第34条第2項
地下街 令第128条の3
中央管理室 令第20条の2の第2号

(5) 建築設備の構造強度
建築設備の構造強度 令第129条の2の3

(6) 給水、排水その他の配管設備
給水、排水その他の配管設備設置、構造 令第129条の2の4
エレベーターの昇降路の構造 令第129条の7
告示 昭50建告1597号

(7) 消防法・消防法施工令に準拠する。

(8) 水道法施行令に準拠する。
給水装置の構造及び材質の基準に関する省令

■ 特記事項（図面に明記なきも、下記特記事項に関しては留意し施行を行うこと）

■ 共通事項

- ① 地中外壁を貫通する配管及びダクトは実管スリーブ（ツバ付き）を使用する。（両仕舞は建築工事とする）
- ② 配管が防火区画及びを貫通する場合は国交省認定工法【防火区画貫通部耐火措置部材】による施工を行う事。
- ③ 国交省認定工法【防火区画貫通部耐火措置部材】が設計図と異なる施工を行った場合は、認定番号、認定書を提出すること。
- ④ 配管の施工工法は国交省仕様による。（地盤沈下防止対策含む）
- ⑤ その他図面に記載されている特記事項に充分留意する事。

■衛生設備

- ① 排水設備は水道法、所轄水道局の基準に従い施工すること。
- ② 排水設備は下水道法、所轄下水道局の基準に従い施工すること。
- ③ 各種負担金（水道、下水道）は工事区分とするとする。
- ④ ライニング鋼管の接続部は堤床コアを用いるとする。
- ⑤ 排水立管が（管ハ最大管径）の場合は層間に伸縮継ぎ手をつけること。横主管の排除口は10m以内に取り付けること。
- ⑥ 排水立管は最上階、中間層、最下階にコネ継ぎ手をつけること。
- ⑦ 排水立管の満水継ぎ手取り付けに関しては、その差を管理者との協議による。
- ⑧ 排水立管、排水口の立ち上りには分岐用仕切り弁、※1をつけること。
- ⑨ 排水樹の深さは参考とし、現場で再度調査を行うこと。
- ⑩ 湧湧用モンスピッターの配置、配線は工事区分による。
- ⑪ 腐食を恐れるある部分は塩化ビニル製の樹脂管又は内外面被覆鋼管を使用し腐食防止の措置を講じる。
- ⑫ 水受け設備に給水する配管材料の配管設備の水の開口部には標準仕状仕口空間を確保すること。
- ⑬ 給水・排水その他の配管設備の設置及び構造は第12条の2の4の規定を満たすこと。
- ⑭ 衛生器具類は日本工業規格適合品を使用する。
- ⑮ 衛生管の凍結のおそれのある部分には防凍のための保温工を施す。（寒冷地は地域に合わせ設備工を行う）
- ⑯ 排水管は水撃振動等の発生を抑制するためのウォーターハンマー防止の措置を講ずること。
- ⑰ 請負業者は工事着手前に、設計図面を査し、疑義を発生した場合係員に報告し、係員の指示に従うこと。
- ⑱ 請負業者は工事引渡し前に、各種試験（水量、水圧、給湯温度）結果報告書を係員に提出すること。
- ⑲ 専用、共用配管（給水、給湯、ガス、排水管）のコンクリート打込みを禁止とする。
- ⑳ 地中埋設配管配管上のコンクリート打設を禁止とする。
- ㉑ 排水管（V.P）使用範囲において200mm以上のものはV口打ち可とする。
- ㉒ 排水設備の構造は、下水道法施行令第8条の基準による。
- ㉓ 排水立管、横主管の管径指定は負荷単位とし、排水管勾配の決定方法は（SHASE-S206-2009）とする。

■空調・換氣設備

- ① 火を使用する設備の換気ダクトはセラミック20mmの断熱を施す事。
- ② 外壁より2m以上の換気ダクトは空留ダクト・全熱交換器による結露防止のためにグラスウール20mm巻くとする事。
- ③ 冷暖房は国土交通省適合 高断熱ペアコイル・ダブル高断熱ペアコイル仕様とする事。
- ④ 空調器用リモコンスイッチの配置、配線は工事区分とする。
- ⑤ 振動及び騒音の発生が予想される機器及びこれに接続する配管は防震装置及び防震架台を設置する事。
- ⑥ 外壁ペントキャップは全システム標準(指定色OP塗装) (防虫アミ付) とする。
- ⑦ 結露用外壁ペントキャップが本工事の場合は全て消音型とする。
- ⑧ ジャッキ用換気機設備で専用機種でない場合は全て「24時間換気機Aタイプ」の旨の「ラ」を貼ることを。
- ⑨ 区画貫通処理は国土交通省認定方法とする。
- ⑩ 請負業者は工事着手前に、設計図を精査し、疑義生ずる場合は係員に報告し、係員の指示に従うこと。
- ⑪ 請負業者は工事終了後直ちに、各種仕様(風量、静圧、各室室温湿度、湿度) 検査報告書係員に提出すること。

■ 共通事項

- 01) 地中埋設を貫通する配管及びダクトは実管スリーブ（ツパ付き）を使用する事。（専任技師は建築工事とする）
- 02) 配管が防火区画とを貫通する場合は国交省認定工法【防火区画貫通部耐火措置部材】による施工を行う事。
- 03) 国交省認定工法【防火区画貫通部耐火措置部材】が設計図と異なる施工を行った場合は、認定番号、認定書を提出すること。
- 04) 配管の施工工法は国交省仕様による。（地盤沈下防止対策含む）
- 05) その他図面に記載されている特記事項に十分留意すること。
- 06) 屋外部分の管、ダクト、その他支保金物全てに防火パッキンと製とする。
- 07) 屋外部分の保温外皮は全て防火パッキンとする。但し図面に外皮の仕様が記載されている場合は、平面図優先とする。
- 08) 塩害の恐れのある部分で屋上に設置される機器は耐塩塩害仕様とする。
- 09) 配管設備の構造詳細は下記によること。
 - 地中埋設配管は防錆剤の為に防錆を要すること

■寒冷地対策

- 01) 保温、防霜仕様は寒冷地仕様とする。
- 02) 屋外土中配管は凍結深度以上の埋設配管とする。
- 03) 屋外露出給水、給湯配管は電熱ヒーター巻きとする。
- 04) 寒冷地の場合、量水器には保温カバーを設けること。
- 05) 水栓コマは固定式とする。
- 06) 衛生陶器は寒冷地仕様とすること。
- 07) 図示箇所。

■ 配管材料

すべて国交省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築標準仕様書「機械設備工事編」（最新版）及び公共建築設備工事標準図に準拠し配管材・ダクト材料を選定する。

■ 保温工事

すべて国交省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築標準仕様書「機械設備工事編」（最新版）及び公共建築設備工事標準図に準拠し保温材を選定する。

■ 塗装及び防錆工事

すべて国交省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築標準仕様書「機械設備工事編」（最新版）及び公共建築設備工事標準図に準拠し塗装材料を選定する。

■ メーカーリスト

適用	機材	メーカー名
●	管 材	積水化学工業（株）・住友金属工業（株）・新日本製鉄（株）・（株）クボタ
○	受 水 槽	積水アクアシステム（株）・（株）日立ハウステック・（株）ブリジストン
		三菱樹脂（株）
●	ポ ン プ 類	（株）荏原製作所・（株）川本製作所 ・（株）テラルキョクトウ
		（株）日立製作所
●	電 気 温 水 器	（株）INAX ・ TOTO（株）・ イトミック（株）
●	衛 生 器 具	（株）INAX ・ TOTO（株）・ ジャニス工業（株）
●	空 調 機 器	三菱電機（株）・ ダイキン工業（株） ・ パナソニック㈱
●	換 気 扇 類	三菱電機（株）・ パナソニック㈱
○	床暖パネル	ベンチャーメリアル(株)03-3553-5081 担当 宿利氏
●	プレハブ配管システム	（株）カワト T. P. C.
●	エコキュート	三菱電機（株）

■ 凡例

記号	名称	配管材料及備考
—— — - —— — I ———	給水管 給湯管	水道用耐衝撃性硬質塩ビ管 架橋ポリエチレン管（工場加工） 架橋ポリエチレン管（工場加工） 給湯用塩化ビニリング鋼管 屋内一般 屋内一般 屋内一般
—— — G ———	ガス管	ガス会社指定材
—— — —— - - - - - ——	排水管 通気管	耐火二層管（V.P） 硬質塩化ビニル管（V.P） 耐火二層管（V.P） 硬質塩化ビニル管（V.P） 一般部 埋設・ピット等一般部 埋設・ピット等
—— — X ———	屋内消火栓管	外面被覆鋼管（ ・ VS ・ PS ） 配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3454
—— — H ———	連結送水管	圧力配管用炭素鋼鋼管 JIS G 3454 S c h 40 （地中・ピット内は外面ライニングとする）
水栓類(JIS規格)	水栓類(JIS規格)	給水栓・給湯栓・混合栓
—— —	ゲート弁	JIS-10K、(直結、マテ回り) JIS-10K、 連結送水管は16K
—— —	チャッキ弁	JIS-10K (スプリング型) 連結送水管は16K
フルツフ手可とう継手	フルツフ手可とう継手	スプリング製、ゴム製（長さは仕様書による）
□ ○	汚水樹	改良樹 小口径塩ビ樹（蓋仕様は図面参照）
⊠ ○	雑排水樹	改良樹 小口径塩ビ樹（蓋仕様は図面参照）
▮ ○	トラップ樹	改良樹 小口径塩ビ樹（蓋仕様は図面参照）
—— —	排水金物 排水目皿	T 5 A . B T 1 4 A P 3 A . B D
—— —	床下掃除口	C O A C O B バリヤフリー対応形
VC ← —	ベントキャップ	SUS製（防虫網付） * FD付は防火設備対応
EAG ← —	排気ガラリー	* FD付は防火設備対応 SUS防虫網、ネット付
OAG ← —	給気ガラリー	* FD付は防火設備対応 SUS防虫網、ネット付
—— —	スパイラルダクト	ステンレス製（板厚は仕様書による）
—— —	角ダクト	亜鉛鉄板製（板厚は仕様書による） 厨専用排気ダクトはステンレス製とし1番手以上とす 自主適合マーク NBK-OZ-U84同等品 日本防排煙工業会FD付は防火設備対応
—— —	防火ダンパー	同上適合マーク NBK-OZ-U84同等品 日本防排煙工業会FD付は防火設備対応
—— —	風量調整ダンパー	亜鉛鉄板製（仕様は仕様書による）
—— —	逆流防止ダンパー	亜鉛鉄板製（仕様は仕様書による）
—— — R ———	冷媒配管	区画貫通箇所は認定工法対応 被覆銅管
—— — D ———	空調ドレイン管	区画貫通箇所は認定工法対応 硬質塩化ビニル管

■ 工事区分表

[illegible]

機器表

[illegible]

機 器 表

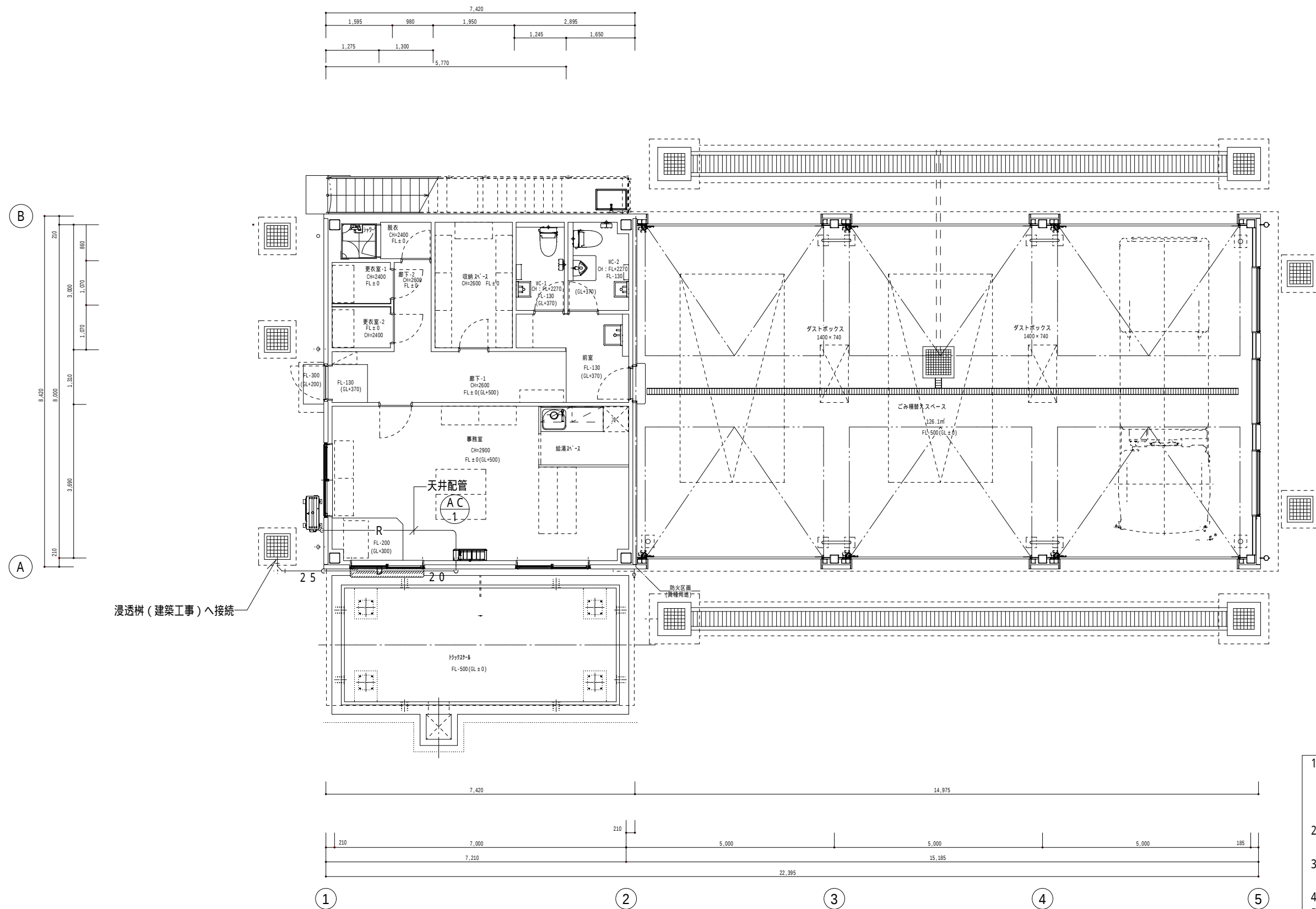
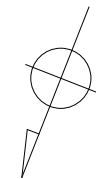
[illegible]

注記： 1) 延焼ライン： 区画貫通用 F D は図面参照とする。
2) 屋内・屋外・露出冷媒管・ドレン管はスリムダクト（指定色）保護とする。
3) 機器型番は参考とし同等品以上とする。
4) 機器は全て重塩害仕様とする。

	株式会社日産技術コンサルタント 一級建築士事務所 東京都知事登録 第58145号	設計年月	2025	—	3				工事名	鹿島地方事務組合 波崎中継施設建設工事			図面番号 M—003
		設計者	一級建築士	第324624号	平山 純					図面名	空調・換気・給排水 機器表	縮尺 No. Scale	

換気計算表

[illegible]



- 1) 空調機特記無き配管仕様は下記に依る。
冷媒管：6.4φ×12.7φ
ドレン管：20φ C V付
渡り配線：EM-E E F 2.0[□]-2C×2
2) 屋内・屋外露出部分はスリムダクト（指定色）
保護とする。
3) 給湯器と冷媒管・ドレン管の離隔距離（可燃物）は
黒本に準じ施工する。
4) 冷媒管・ドレン管の区画貫通処理は認定工法とする。
5) 屋外機に用途名表示する。

平面図 1/100

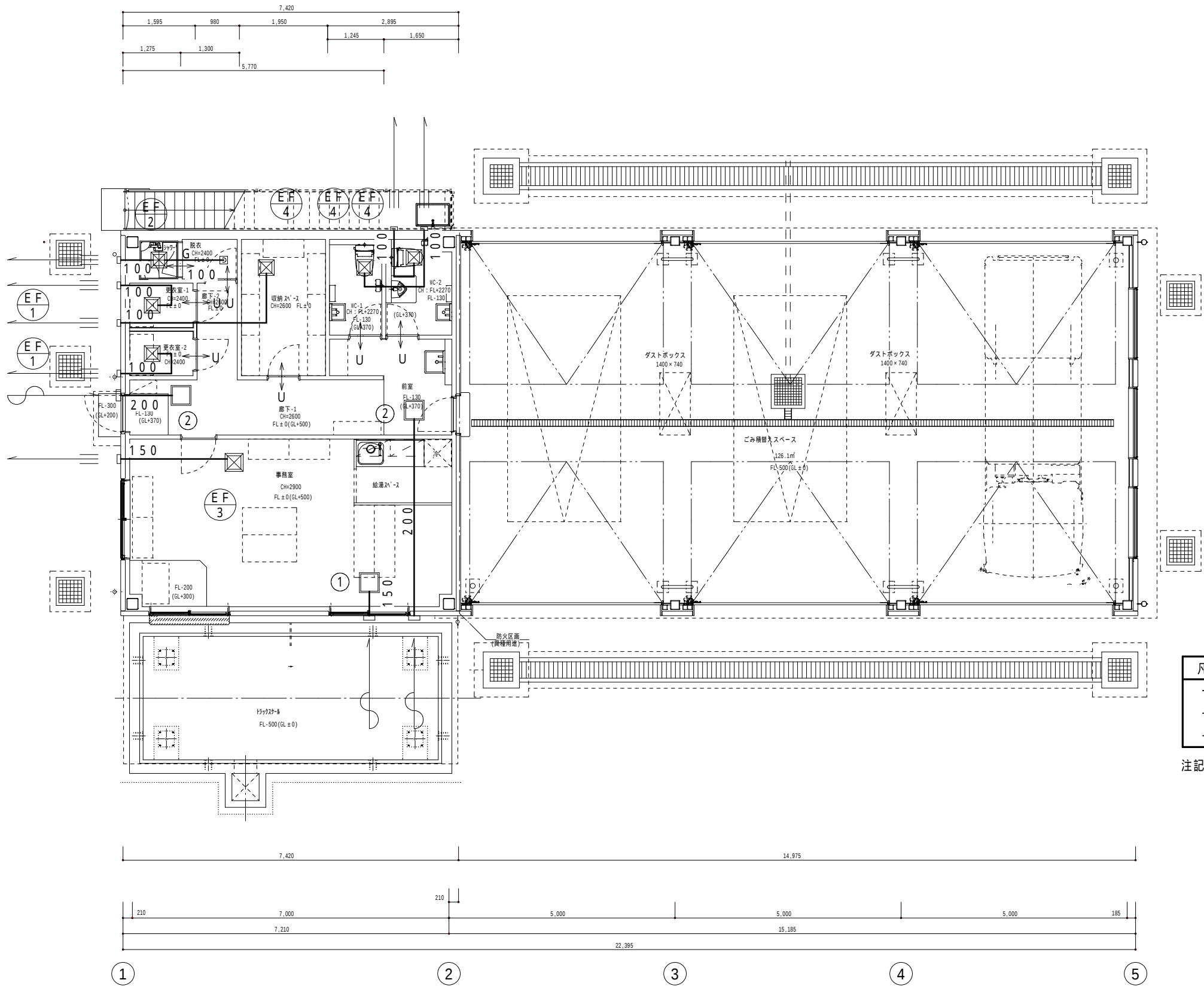
① 給気口 150φ
樹脂製 フィルタ - 付
P-18GSF ₃
パイプフ-ド(SUS)
BSG150SBR

② 給気口 200φ
樹脂製 フィルタ - 付
P-23GSF ₃
パイプフ-ド(SUS)
BSG200SBR

× 2

B

A



凡例	
↔ U	アンダ - カット
↔ S	引違い戸
↔ G	ガラリ

注記：1) アンダ - カットは10mm/hとし建築工事とする。
2) FD点検口450*450は建築工事とする。
3) 給気口用フィルタ - は高性能フィルタ - とする。
4) スパイラルダクトはステンレス製とする。
5) 吸排気ダクトはRW25mm保温を外壁より2mとする。

平面図 1/100

株式会社日産技術コンサルタント
一級建築士事務所 東京都知事登録 第58145号

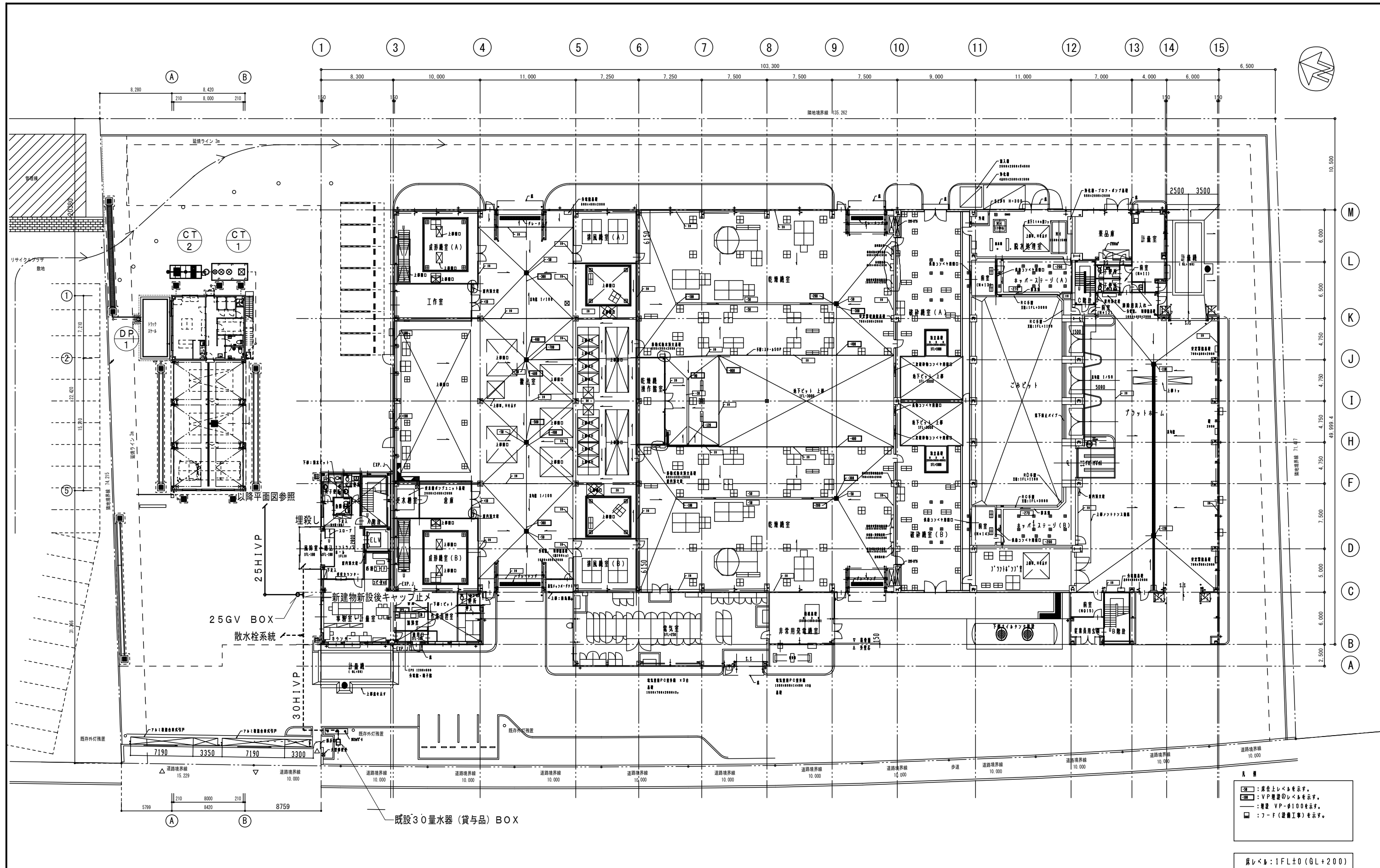
設計年月 2025 - 3
設計者 一級建築士 第324624号 平山 純

工事名 鹿島地方事務組合 波崎中継施設建設工事
図面名 1階 平面図(換気) 縮尺 1/100

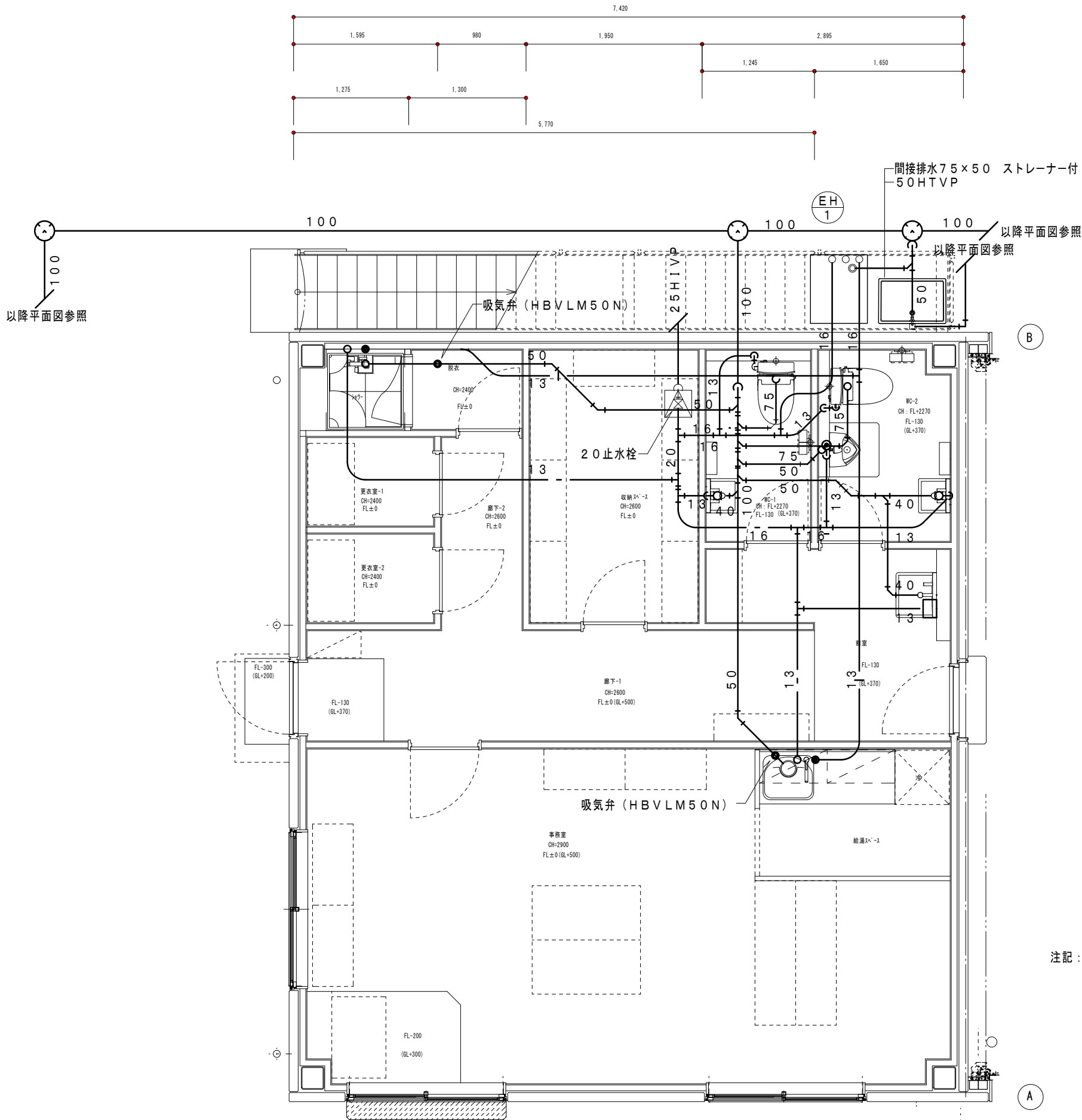
申請M-006

図面番号

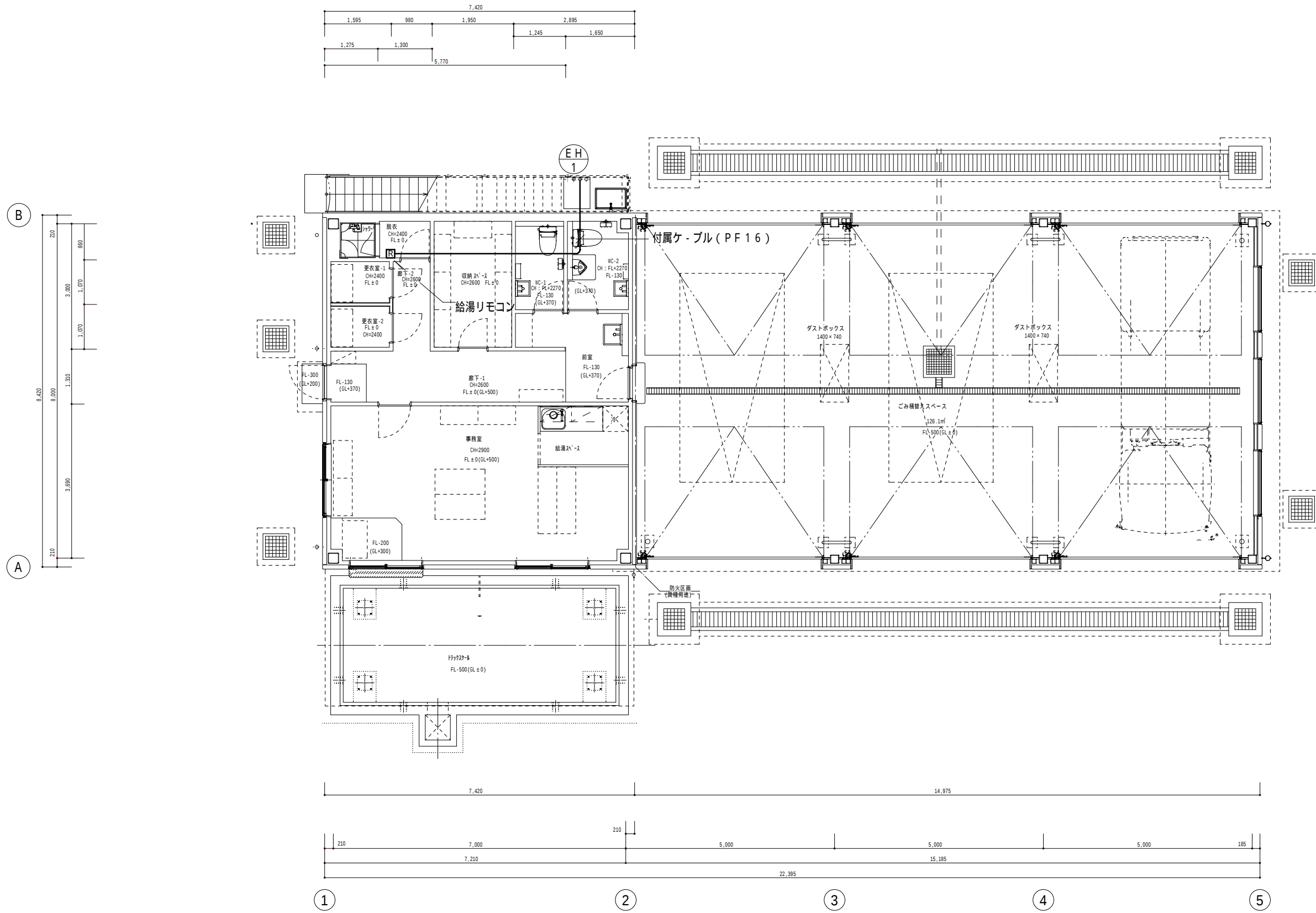
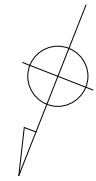
M-007



配置図 1/400

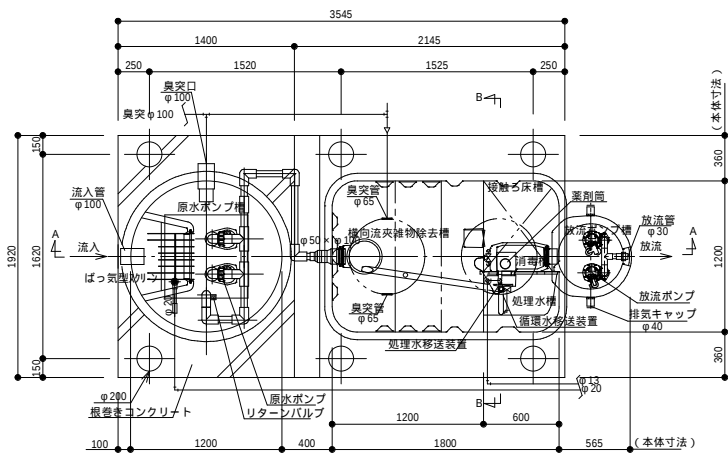


注記：１）建物内の給水・給湯管は架橋ポリエチレン管仕様とする。
２）架橋ポリエチレン管は保温付とする。
３）屋外露出保温はステンスラッキング仕上りとする。
４）給水止水栓部分の床点検口は建築工事とする。

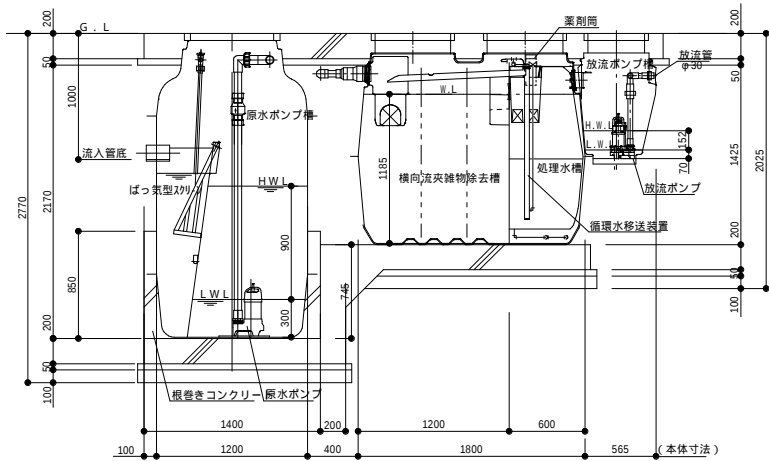


平面図 1/100

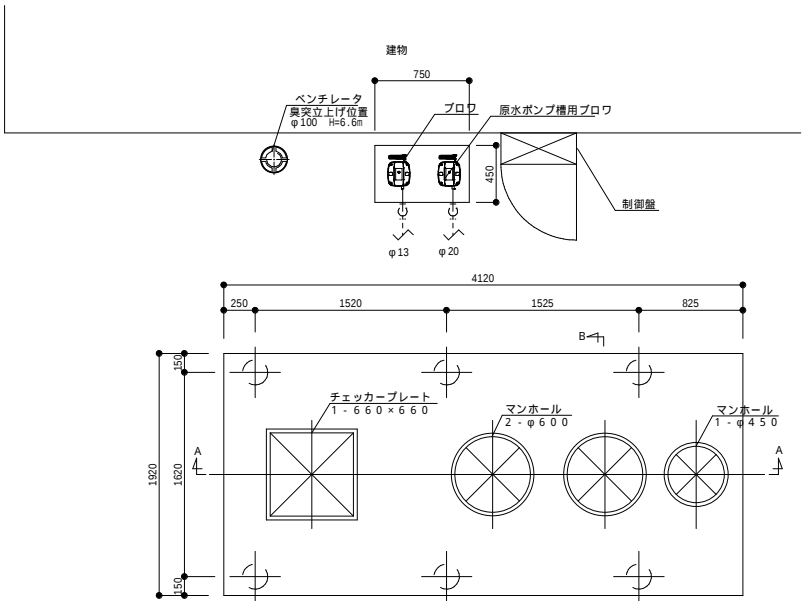
株式会社日産技術コンサルタント 一級建築士事務所 東京都知事登録 第58145号			設計年月 2025 - 3	設計者 一級建築士 第324624号 平山 純	工事名 鹿島地方事務組合 波崎中継施設建設工事	図面番号 M-011
					図面名 1階 平面図 (電気温水器 配管・配線)	縮尺 1/100



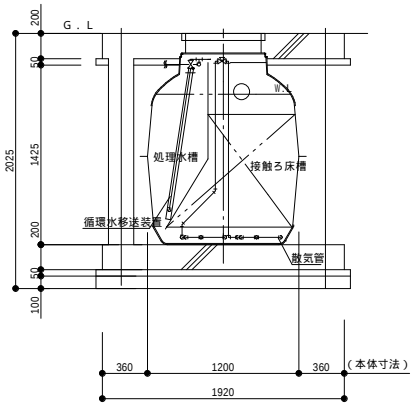
平面図 S = 1 / 6 0



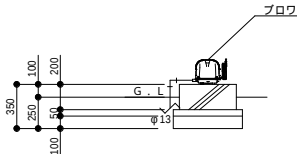
A - A 断面図 S = 1 / 6 0



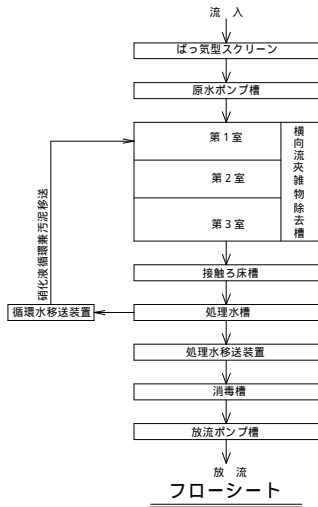
頂版開口図 S = 1 / 6 0



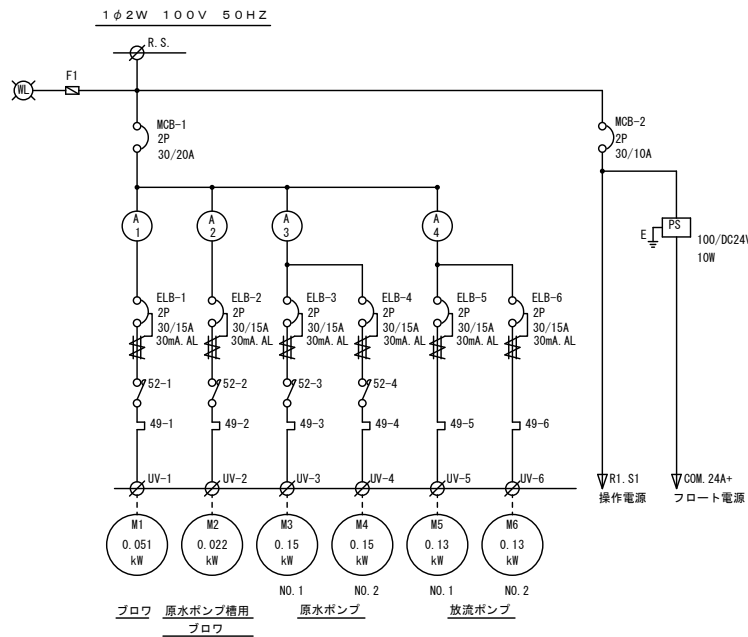
B - B 断面図 S = 1 / 6 0



ブロウ断面図 S = 1 / 6 0



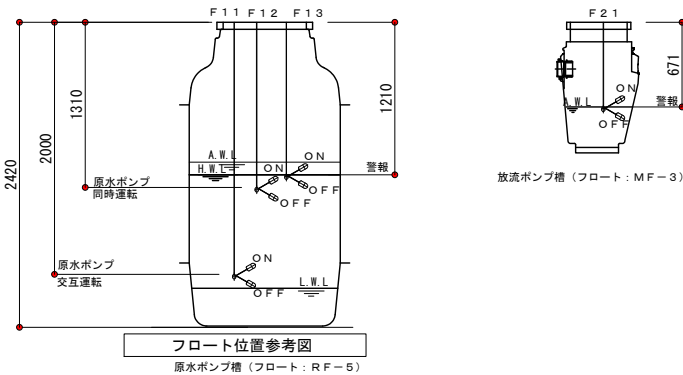
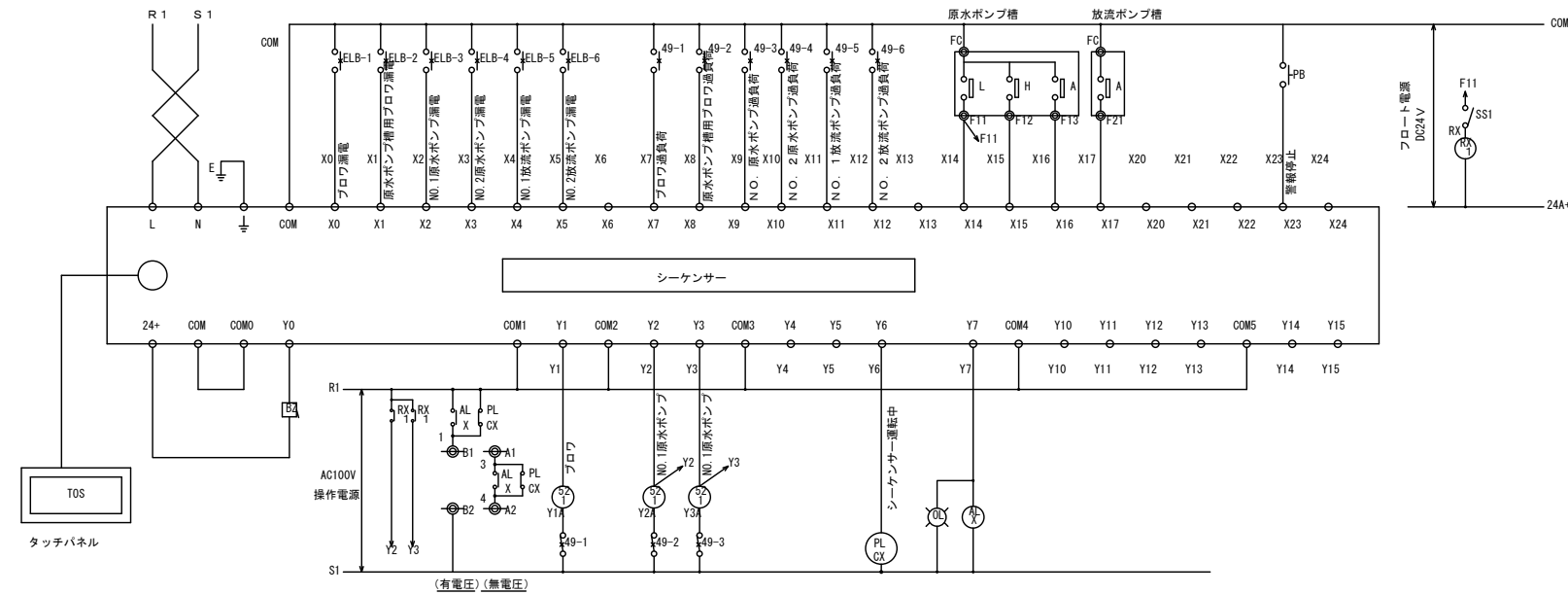
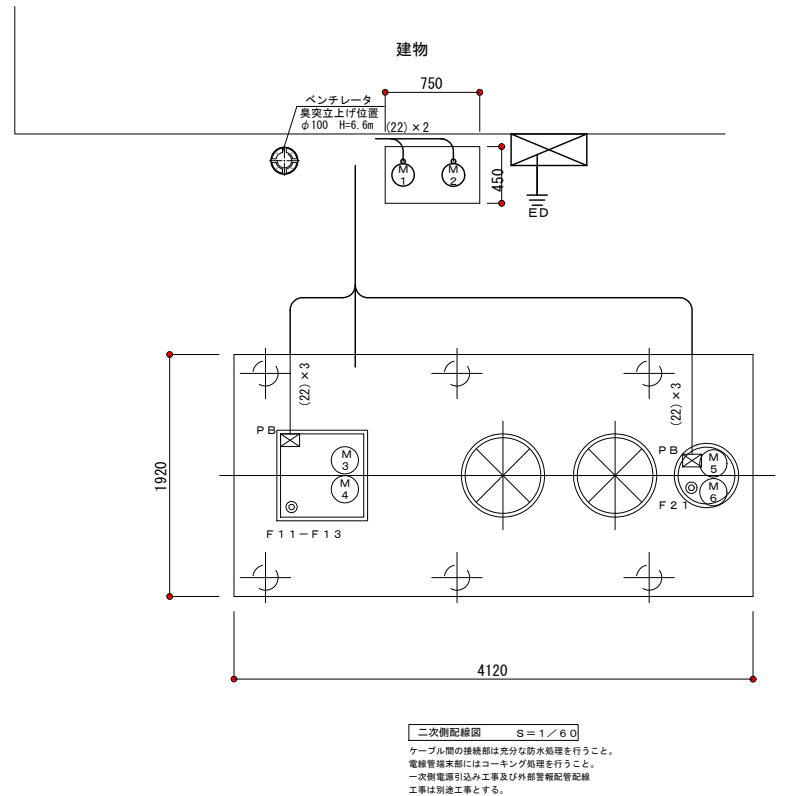
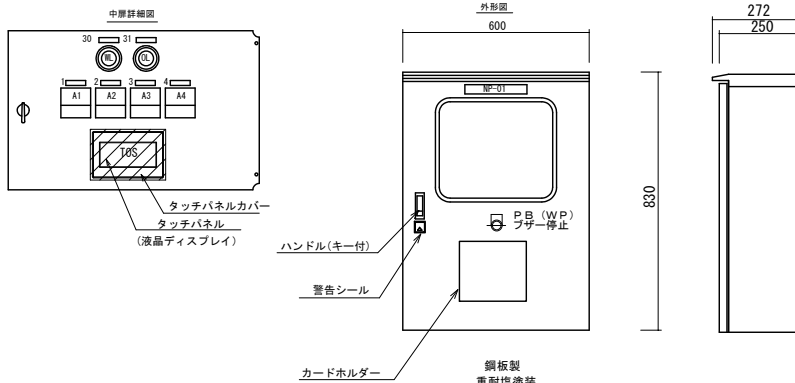
ダイキアクシス浄化槽	
型式	X J - 7
型式認定番号	8-24-H-002
仕 様 表	
分類	合併処理
処理計画人員	7 人
処理計画汚水量	1 . 4 m ³ / 日
流入水質	B O D 200m g / L
放流水質	B O D 20m g / L
処理方式	横向往流夾雑物除去接触ろ床循環方式
有 効 容 量 (m ³)	
ばっ気スクリーン	0 . 2 1 3
原水ポンプ槽	0 . 8 4 9
横向往流夾雑物除去槽	1 . 4 7 1
接触ろ床槽	0 . 5 0 1
処理水槽	0 . 2 1 5
消毒槽	0 . 0 1 5
放流ポンプ槽	0 . 0 4 0
電気機器仕様	
ブロウ	1 0 0 V ・ 単相 ・ 5 1 W 1 台
原水ポンプ槽用ブロウ	1 0 0 V ・ 単相 ・ 2 2 W 1 台
原水ポンプ	1 0 0 V ・ 単相 ・ 1 5 0 W 2 台
放流ポンプ	1 0 0 V ・ 単相 ・ 1 3 0 W 2 台
注記	
スラブ荷重は、T - 6 とする。	
マンホールは、Fc製とする。	
チェッカープレートは、防臭型ロック式とする。	
臭突工事は、処理槽工事内とする。(臭突排気風量0.33m ³ /分) ³	
臭突横引き配管は、上り勾配施工とする。	
流入・放流配管は、処理槽工事外とする。	
処理槽流入部付近に給水栓を設けること。但し、処理槽工事外とする。	
臭突管の工事ができない場所は、放流ポンプ槽から放流先に空気逃がし配管を行って下さい。	
原水ポンプ槽のかさ上げ0mmです。	
処理槽のかさ上げ100mmです。	
かさ上げは300mm以下と決まられています。	
必要地耐力は45kN/m ² です。	



銘 板 表		
記号	名 称	サイズ
NP-01	汚水処理制御盤	200×30
NP-02	社名板	250×40
1	ブロウ	45×9
2	原水ポンプ槽用ブロウ	〃
3	原水ポンプ	〃
4	放流ポンプ	〃
30	電源	〃
31	一括警報	〃
SS1	非常 入 切	SSW

屋外、屋内壁掛型 (併用)	
本体板厚	1.6t
扉板厚	1.6t
塗装色外面	5Y7/1
塗装色内面	5Y7/1

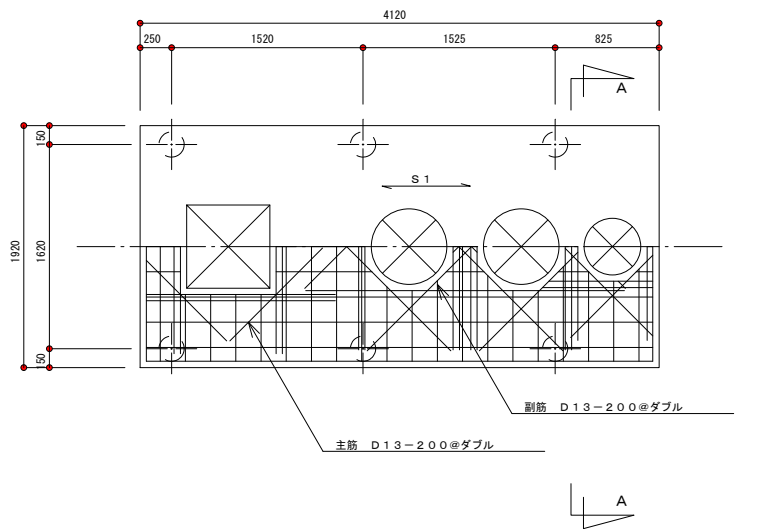
外部端子図	
R	S
E	UI
V1	E
U2	U3
V2	U4
E	U5
U6	FC
FC	F11
F12	F13
F21	B1
B2	A1
A2	
入力電源	ブロウ
原水ポンプ槽用ブロウ	原水ポンプ
放流ポンプ	放流ポンプ槽
有電圧	無電圧
警報	予備



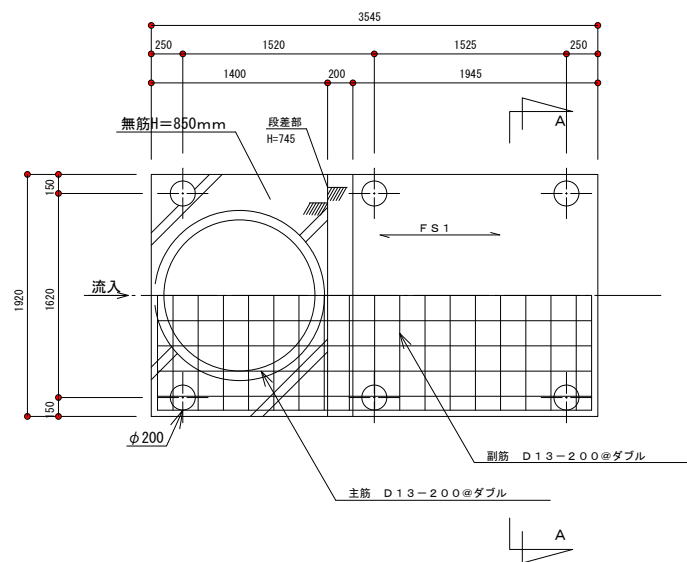
動作表

機器 NO	機器名称	警報		機器選択			故障時 移行	備考	
		満水	故障	手動	自動	自動 (自交)			
			漏電 過負荷						
M 1	ブロウ		○	○	○			入一切	
M 2	原水ポンプ槽用ブロウ		○	○	○			入一切	
M 3	NO. 1 原水ポンプ	○	○	○			○	○	原水ポンプ槽 LWL 以上で自動運転、原水ポンプ槽 LWL 以下で停止。 原水ポンプ槽 HWL 以上で予備ポンプ運転、原水ポンプ槽 HWL 以下で停止。
M 4	NO. 2 原水ポンプ		○	○			○	○	
M 5	NO. 1 放流ポンプ	○	○	○					ブレーカーにて電源送り（オートポンプ入切） 放流ポンプ槽 AWL 以上で満水警報。
M 6	NO. 2 放流ポンプ		○	○					

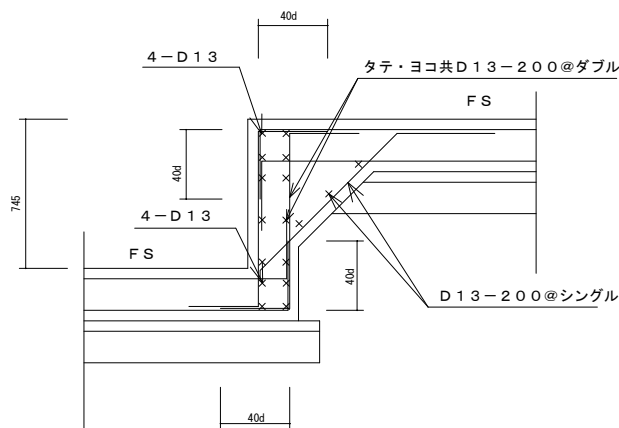
符号	機 器 名 称	容量 (kW)	使用ケーブル、電線管
M1	ブロウ	0.051kW	EM-CE 2mm ² -3φ (HIVE22)
M2	原水ポンプ槽用ブロウ	0.022kW	EM-CE 2mm ² -3φ (HIVE22)
M3	NO. 1 原水ポンプ	0.150kW	EM-CE 2mm ² -3φ (HIVE22)
M4	NO. 2 原水ポンプ	0.150kW	EM-CE 2mm ² -3φ (HIVE22)
M5	NO. 1 放流ポンプ	0.130kW	EM-CE 2mm ² -3φ (HIVE22)
M6	NO. 2 放流ポンプ	0.130kW	EM-CE 2mm ² -3φ (HIVE22)
F11-F13	原水ポンプ槽 フロートスイッチ	EM-CEE1.25mm ² -4φ (HIVE22)	
F21	放流ポンプ槽 フロートスイッチ	EM-CEE1.25mm ² -2φ (HIVE22)	
ED	D種接地工事	EM-IE 5.5mm ²	(HIVE16)
PB	1500×100.VE(WP)		



頂版スラブ配筋図 S = 1 / 6 0 主筋方向



基礎スラブ配筋図 S = 1 / 6 0 主筋方向



基礎 スラブ 段差部配筋詳細

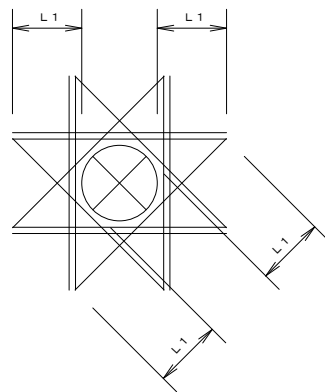
共通事項

凡 例	・-----D10 x -----D13 o -----D16
鉄 筋	SD-295 使用とする。
コンクリート	Fc=21 N/mm ² とする。
スラブ荷重	T-6
地 耐 力	50 kN/m ² とする。
そ の 他	詳細は現場係員の指示による。

スラブリスト

スラブ	スラブ厚	位置	主 筋	副 筋	備 考
S 1	200	全断面	D13-200@	D13-200@	ダブル
FS 1	200	全断面	D13-200@	D13-200@	ダブル

スラブ筋等の重ねつぎで長さは小径の40d以上とする。



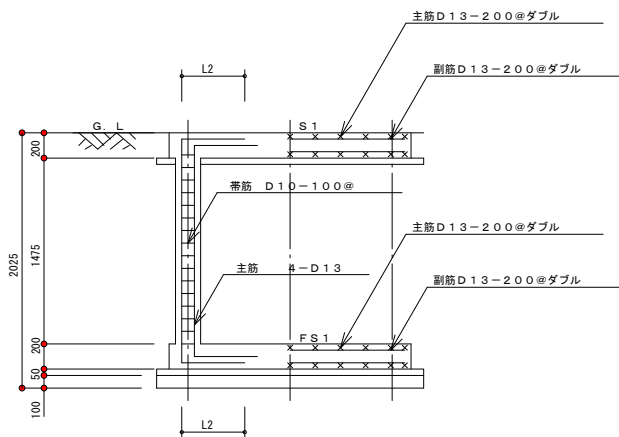
開口部補強筋 4-D13
斜め筋 2-D13
定着長さ L1=40d

開口部補強筋

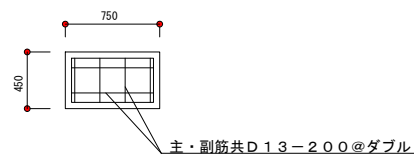


主筋 4-D13
帯筋 D10@100

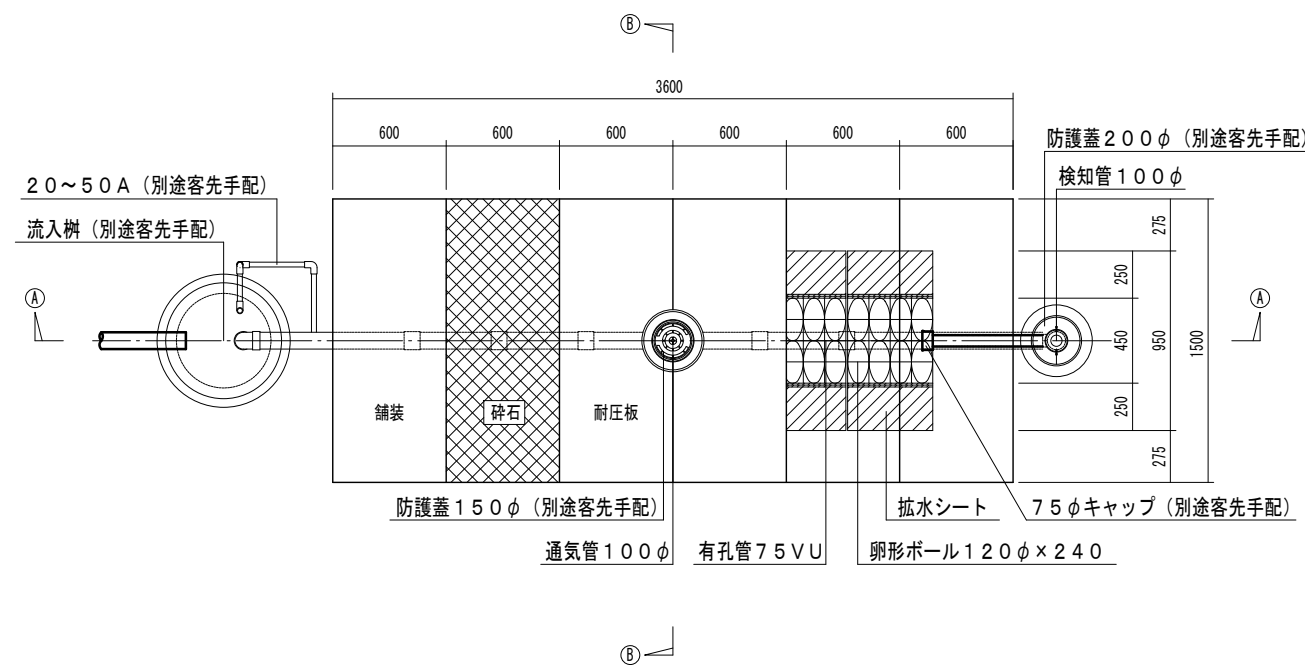
柱配筋詳細図 S = 1 / 3 0



定着長さ L2=35d
A-A断面配筋図 S = 1 / 6 0



機械基礎H=200
機械基礎配筋図 S = 1 / 6 0 主筋方向

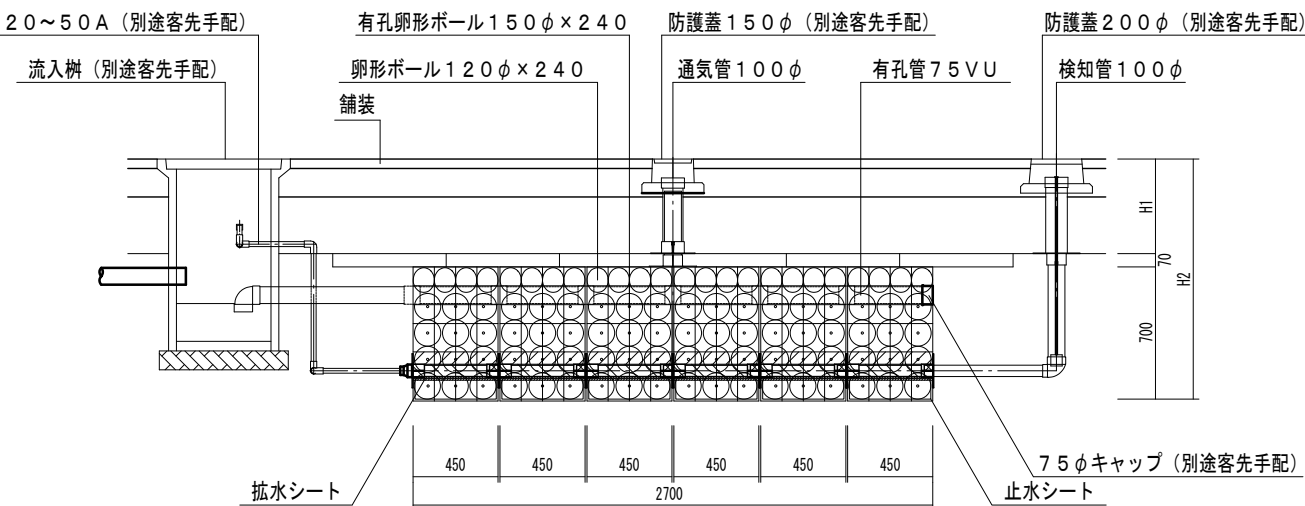


SRS-EPS土壌拡散処理システム平面図

注記：客先手配は全て機械設備工事とする。

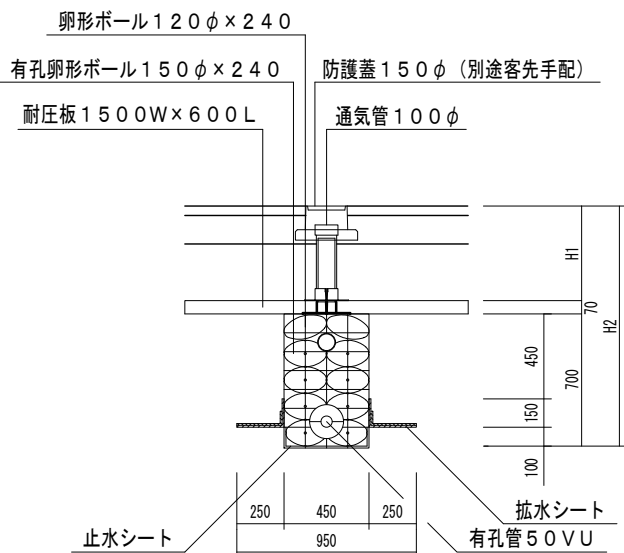
計画汚水量：1400 L/日
処理能力：250 L/基
必要基数：1400 L ÷ 250 L = 5.6
6基とする
必要処理面長：0.45 m × 6基 = 2.7 m
※ H1：400mm以上（中耐荷重対応）
：600mm以上（重耐荷重対応）
H2：
検知管用防護蓋：参考品番 FVK-20セット
通気管用防護蓋：参考品番 HB-D (A) 15Aセット

1. 各行政の取扱指導要綱に準拠し、合併浄化槽放流水を敷地内処理する装置とする
2. 雨水浸透ます付近及び雨水等の流入する恐れのない場所へ設置すること
3. 粘土層等の透水性が悪い土壌への設置は行わないこと
4. 地下水位が装置底面より1m以上離れている場所で湿潤でない場所へ設置すること
5. 処理装置の端より建築物、隣地境界までの距離は1m以上とする
6. 処理装置上部は物を置かないこと
7. 維持管理を適正に行うこと
8. 図面上別途工事・客先手配工事は機械設備工事とする。



A-A断面図

注記：客先手配は全て機械設備工事とする。



B-B断面図

注記：客先手配は全て機械設備工事とする。

申請M-015

株式会社日産技術コンサルタント

一級建築士事務所 東京都知事登録 第58145号

設計年月 2025 - 3

設計者 一級建築士 第324624号 平山 純

工事名 鹿島地方事務組合 波崎中継施設建設工事

図面名 SRS-EPS土壌拡散処理システム
7人槽用（6基）

縮尺 1/40

図面番号 M-016